

事業報告

講座名	環境学習講座 「洞窟体験&ジオラマづくり！Mine 秋吉台ジオパークまるごと体験教室」		
日時	令和8年8月1日（土）9：50～15：00		
場所	・景清洞 ・秋吉台エコ・ミュージアム レクチャールーム	参加者数	13組28人

1 概要

本年4月、ユネスコ世界ジオパークに認定された Mine 秋吉台ジオパークにおいて、秋吉台の地上と地下に広がる特有の自然や文化を洞窟体験とジオラマづくりを通じて学ぶ講座を実施した。

なお、当日は美祢市教育委員会世界ジオパーク推進課など4名の方に、一日を通して講座運営にご協力いただいた。

（1）10:00～10:15 「秋吉台のおはなし」

まず、Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会事務局の小原北士専門員が、秋吉台の下や水の流れはどうなっているのか、秋吉台にはどんな植物や生物がいるのかなど、図や写真を示しながら説明された。参加者は配付資料を見ながら熱心に聞いていた。

（2）10:15～12:00 景清洞でワクワク洞窟体験

続いて、ヘルメットの装備や洞内の注意事項の確認などを行い、いよいよ景清洞の探検コースに出発した。まず、美祢市立秋吉台科学博物館の石田麻里学芸員の説明を聞きながら、コウモリがいる天井を見上げ、鳴き声や超音波に耳を澄ました。途中、長い年月をかけて形作られた洞内の高低差のある天井や複雑な形状の壁を観察したり、洞窟に生息する小さな生きものや壁に残る化石を探したりして奥へと進んだ。石田学芸員は洞内の生きものについての知識が大変豊富で、参加者の質問にも的確に回答してくださった。

ごつごつした岩が続く道や天井が低い所などに気をつけながら、探検コース終点まで全員が無事にたどり着き、一斉にライトを消して真っ暗闇で無音の世界を体験した。石田学芸員の「洞窟に生息する生きものは目がいない、色も白い」という説明に、皆がなるほどと実感できた。

(3) 13:10～13:40 「洞窟で見つけたもの・気づいたこと」

午後は景清洞から秋吉台エコ・ミュージアムに会場を移し、洞窟に住むさまざまな動物や秋吉台周辺のコウモリたちの特徴、生物多様性などについて石田学芸員のお話を聞いた。また、景清洞で観察したことを思い出しながら「洞窟の中と外での生きもののたちの繋がりを考えるマップ」を完成させた。

(4) 13:40～14:40 「秋吉台の地上・地下ジオラマづくり」

続いて、Mine 秋吉台ジオパークの認定ジオガイドである谷岡奈美子講師の指導で、石粉粘土を使って秋吉台の地上と地下の繋がりを再現するジオラマづくりに挑戦した。参加者は景清洞での観察や小原、石田両講師のお話を思い出しながら各自で粘土を練り、地下の空間や壁、地上の木や石灰岩、草原への色付けなど細かい作業をおこなった。親子でお互いの出来栄をチェックしながらジオラマを作る様子があちこちで見られ、全員が楽しみながらジオラマを完成することができた。

<写真>



秋吉台のお話



小原講師



石田講師



景清洞へ出発



コウモリ観察の注意事項を聞く



コウモリの巣（不在）



化石や生きものを観察する



木片に生きものがある？



天井が低い！



午後の石田講師のお話を聞く



谷岡講師から説明を聞いてジオラマづくり開始





ジオラマが完成



最後のまとめ